

Gifu Keizai University

岐阜経済大学マガジン

GKUN **W!**

vol.

94

2017.August



硬式野球部全国ベスト8⁶

2 創立50周年記念特集 第4弾

10 キャンパス彩々

13 研究室だより

8 輝け!アスリートたち

12 Close-up OB

14 平成28年度決算報告

硬式野球部全国大会 初出場!!

記念式典開催



オープニングを飾った大垣女子短期大学のウインドアンサンブル



田口義隆理事長挨拶

新たなる50年へ

— 創立50周年記念式典 開催 —



在学生3名による「岐阜経済大学re-Birth宣言」

2017年4月、岐阜経済大学は50周年を迎え、6月1日(木)には記念式典が盛大に執り行われました。

オープニングには、4月の学校法人合併により同一法人となった、大垣女子短期大学のウインドアンサンブルによる演奏が披露され、50周年の開幕にふさわしく華を添えていただきました。

式典第一部は、本学50年の歴史を振り返る記念ビデオの上映に始まり、公設民営大学として開学した1967年からこれまでの岐阜経済大学の歩みや、50周年事業、教育研究活動、課外活動などが紹介されました。

田口義隆理事長(セイノーホールディングス(株)代表取締役社長CEO)は、学校法人大垣総合学園をイメージするキャッチ「ピーValue UP!!」あしたのために「今、やろう」とを披露し、「法人合併の趣旨である『西濃学園都市』の実現に向け、今後岐阜経済大学での教育、研究、社会的活動が、学生の皆さんの人生の価値向上(Life Value UP)、そして地域貢献(Social Value UP)に繋がるよう、学生・教職員法人が一丸となつて尽力していきます」と挨拶しました。



山田武司学長式辞

また、山田武司学長は、「今後は大垣女子短期大学と、それぞれのリソースを活用しながら、次の50年の扉に向けて邁進していきます」と式辞を述べました。

来賓祝辞では、神門純一岐阜県副知事、小川敏大垣市長からお祝いの言葉を頂戴いたしました。

最後に、次の50年に向けた「岐阜経済大学 re・birth宣言」を、在学生代表の湯川空さん（経営学部スポーツ経営学科4年）、戸高晋吾さん（経営学部スポーツ経営学科4年）、ウイリアムビクター・シムニッドさん（経済学部経済学科4年）が宣誓し、新たな歴史・伝統を築くため、今後実現したい岐阜経済大学の「姿」を、それぞれの言葉で述べ、第一部を締めくくりました。



涌井雅之氏による記念講演

第一部では、記念講演が行われ、造園家・ランドスケープアーキテクトの涌井雅之氏による「環境革命の時代に日本を考える〜岐阜県の地域おこし〜」と題した講演が行われました。

涌井氏は、環境革命の時代における3つの「危うさ」（地球・日本・地方）を例に挙げ、それぞれが抱える自然災害や資源・人口問題、それらが与える経済的影響について指摘されました。

その上で、岐阜県の自然環境の良さを紹介し、「森林が経済的機能をもたらす」と展開。地元の人流出を、進学という形でくい止める本学の役割は重要であると説き、「学生は、岐阜経済大学の環境を大いに活かして、知徳体を育ててほしい」と締めくくられました。



鏡割りで50周年を祝いました

第二部は、学生食堂「Cafe Rest 50」に会場を移し、祝賀会が行われました。

50周年記念事業実行委員会の会長である、土屋嶮大垣共立銀行頭取（前理事長）の挨拶では、改めて本学50年の歴史を振り返るとともに、50周年を迎えることができたことへのお祝いの言葉が述べられました。



祝賀会では校章と建学の精神の焼印が入った枰で乾杯しました



50周年のロゴ入り味噌せんべいやキャラクター入りマフラータオルが記念品として配られました

祝賀会では、50周年記念のマスコットキャラクター「リバード」や、大垣市のマスコットキャラクター「おがっさい」も登場し、鏡割りで会場を盛り上げました。

本学を様々な形で支えて下さっている地元官界・企業の方々、他、退職教職員、卒業生、父母役員もご出席いただき、岐阜経済大学への熱い思いが尽きない祝賀会となりました。

第2体育館「Phoenix Arena 50」完成!

—6月1日 竣工式—

新食堂に隣接する形で建設中となっていた第2体育館が5月末に完成し、6月1日(木)の50周年記念式典時に竣工式が執り行われました。

竣工式には大学関係者や設計・施工会社など約30名が出席し、第2体育館の竣工を祝いました。

新食堂同様、学内教職員や学生からの応募により、愛称は「Phoenix Arena 50(フェニックス アリーナ フィフティ)」に決定。体育館の入口には、フェニックスをモチーフにした50周年のシンボルマークが描かれています。

第2体育館はバレーボール公式戦2面、バスケットボール1面に対応しており、冷暖房完備、ロッカー室やシャワー室なども設置されています。



フロア全景



入口のシンボルマーク



竣工式

校友会から大型バスを寄贈



5月24日(水)には、校友会から大学へ大型バスが寄贈されることになり、その贈呈式が行われました。

冒頭、安田良邦校友会会長より、田口義隆(学)大垣総合学園理事長に、バスの鍵が手渡されました。その後、山田武司学長から、安田校友会会長および、東谷弘子親和会役員に感謝状が贈られました。

安田校友会会長からは、「大学が力を入れているスポーツ等で活用して欲しい」と挨拶がありました。

バスは本体を校友会が購入し、親和会の協力で大学名等のラッピングが施され、寄贈されたもので、HINO Blue RibonⅡ-55座席(補助椅子10席を含む)の大型バスです。

今後、クラブ活動やフィールドワークの授業等、大学の行事に活用させていただく予定です。



「創立50周年記念誌」が完成

50周年記念事業の一環として、「創立50周年記念誌」が発刊されました。2015年7月29日に第1回50年誌編纂委員会(委員長:古口博之副学長(当時)、副委員長:浅野照章副理事長、教員8名、事務職員10名、担当:総務課)を開催。編纂目的、想定する読者、年誌の章立て・仕様、編纂手順など、多岐に亘る事項の検討を経て2017年6月に完成しました。学部学科・正課教育・国際交流・地域連携・課外活動・施設ごとの通史、10年毎の通史、資料編という3部構成です。

135ページに亘るこの記念誌発行にあたり、岐阜県知事、大垣市長、大垣商工会議所会頭はじめ、理事、評議員、現旧教職員、さらに卒業生の皆さん等30名以上の関係者に寄稿いただきましたことに心より御礼申し上げます。



マスコットキャラクター「リバード」が誕生しました!

大学では、創立50周年を記念して「火の鳥」をモチーフにしたマスコットキャラクターを制作。インターネットや応募用紙で名称を募集し、審査の結果、re-Birthと鳥(バード)を合わせた「リバード」に決定しました。

夢に向かって何度でもre-Birth(チャレンジ)し、未来へと羽ばたくリバードは、岐阜経済大学に入学して、新たな自分を発見し大空(社会)へ羽ばたく準備をしています。自分の持つ多様な可能性を

信じ、あふれる好奇心と無邪気な性格で、スポーツや勉学、社会活動などに積極的に立ち向かっていきます。

創立50周年記念品(マフラータオル)にイラストが使用されたほか、着ぐるみも作成され、学生の皆さんの応援やイベントに登場する予定です。



岐阜経済大学創立50周年記念事業寄付受領 経過報告

(単位:円)

大垣市並びに地元企業、卒業生、在学生保護者、教職員各位より多大なご浄財をいただき、2017年5月31日までに125,652,000円を受領いたしました。ご支援いただきました寄付金、助成金は、創立50周年記念事業に充当させていただきました。創立50周年記念事業寄付金の趣旨にご賛同いただきました多くの皆様から、多大なるご芳志を賜り厚く御礼申し上げます。

なお、創立50周年記念事業は2018年度まで実施いたしますので、引き続きご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

区分	件数	金額	
自治体	1	20,000,000	
企業・法人	91	100,490,000	
個人	卒業生	244	2,528,000
	在学生(保護者)	53	384,000
	教職員	42	2,240,000
	一般	1	10,000
計	432	125,652,000	

(2017年5月31日現在)

創部50年来初! 硬式野球部 全国大会出場!! 全国ベスト8への軌跡

大学 第66回全日本大学野球選手権大会
野・球 2017年6月5日(月)～11日(日) 明治神宮野球場、東京・有明



心ひびこ

創立50周年の今年、硬式野球部としての新たな歴史が刻まれる：そんな予感を感じさせるシーズンのスタートでした。岐阜県学生野球春季リーグ戦の戦前の予想は、全日本大学野球選手権大会前年優勝の中京学院大学と投打が高いレベルで充実する中部学院大学に強力投手陣を擁する岐阜経済大学が追従するといったものでした。開幕戦こそ苦杯を舐めたものの、以降勝点を積み上げ迎えた第5節の中部学院大学との一戦。今シーズンの天王山と位置づけられた大事な初戦を逆転で勝利し流れを呼び込み連勝。第6節の中京学院大学戦も投打が噛み合い連勝し、勝点4で最終節を迎えました。最終節の対戦相手朝日大学も勝点4を獲得しており、勝った方が優勝という痺れる状況にも、選手たちはいつもどおりのプレーを展開し、連勝で3季ぶり3回目のリーグ優勝を決めました。



岐阜県リーグ優勝を学長・副理事長に報告しました

続く東海地区春季選手権大会（東海地区代表決定戦）では、三重県代表の三重大学と静岡県代表の日本大学国際関係学部との巴戦。初戦の三重大学戦は先制されながらも持ち前の粘りを発揮し逆転で勝利。優勝を賭けた大一番、日本大学国際関係学部戦は、主将でありエースの與座海人（4年・沖縄尚学高校出身）が庄巻の投球で完封し、創立以来初となる全日本大学野球選手権大会の出場権を獲得しました。



東海代表決定戦でホームランを放つ山内来輝捕手(3年・大垣商業高校出身)

終わってみればリーグ戦と東海選手権で12連勝の完全優勝に見えますが、楽な闘いは1試合もありませんでした。リーグ戦10勝のうち5試合は1点差の勝利という僅差の闘いで、これを支えたのが琉球ダブルエースの與座海人と栄野川盛隆（4年・興南高校出身）、最速152

kmの絶対的守護神濱口雄大（4年・高知農業高校出身）でした。リーグ戦に入る前、小森茂監督は、「岐阜を勝ち上がるには3人のスクランブルになる」と明言していたとおり、先発中継ぎ・抑え・連投の過酷なスクランブル登板にも係わらず、彼らは期待どおりの活躍をしてくれました。これに堅いバックの守りでコースコアーの試合を勝ちきり、攻撃陣は日替わりヒーローが誕生するなど、一つずつ地道に勝点を積み上げていった結果の優勝でした。



東海地区春季大会の優勝旗授与



琉球ダブルエースの左腕栄野川投手



石巻専修大学戦でも安定したピッチングで1安打完封に抑えた與座投手

こうして第66回全日本大学野球選手権の東海地区代表として初めての全国の舞台に立ち、迎えた石巻専修大学戦(南東北大学野球連盟代表)は、エース與座海人の1安打完封劇で歴史的全国初勝利。

続く準々決勝の東海大学北海道キャンパス戦(札幌学生野球連盟代表)は、初回に4点を先制されながらも粘り強く闘い、追いつくことはできませんでしたが最後まで岐阜経済大学らしい試合を展開することができました。

結果は全日本大学野球選手権大会初出場ベスト8と胸を張れる成績を収めることができました。

なお、今年4月に法人合併した大垣女子短期大学のウインドアンサンブル約50名の皆さんが応援にかけつけてくれました。

あろがいでございまして。



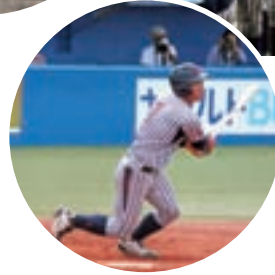
応援を強力にバックアップしてくれた大垣女子短期大学ウインドアンサンブルの皆さん



最速152kmの守護神濱口投手



東海大学北海道戦(明治神宮球場)でホームランを放った下里駿介外野手(4年・興南高校出身)



硬式野球部
小森 茂監督

創立50周年に全日本大学野球選手権大会初出場を果たし、本大会でもベスト8の成績を収めた選手たちを誇りに思います。4月に7季ぶりに監督として復帰しましたが、このチームを負けさせる訳にはいかないという思いで采配をしました。楽しくもあり苦しくもあった2ヶ月半でしたが、選手たちが成し遂げた偉業を素直に喜びたいと思います。また、大会期間中は多方面から温かいご支援、ご声援をいただきましたこと感謝申し上げますとともに、なお一層の高みを目指して精進してまいりますので引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

東海地区大学野球春季選手権 個人賞・ベストナイン

<個人賞>

- 最優秀選手賞 與座海人(再掲)
- 最優秀投手賞 栄野川盛隆(再掲)
- 優秀選手賞 濱口雄大(再掲)
- 優秀選手賞 山内来輝(再掲)
- 首位打者 小濱優磨(3年・南風原高校出身)

<ベストナイン>

- 投手 與座海人(再掲)
- 捕手 山内来輝(再掲)
- 二塁手 小濱優磨(再掲)
- 三塁手 村田 誠(4年・愛知啓成高校出身)
- 遊撃手 宇須凌介(1年・金光大阪高校出身)
- 外野手 佐藤謙次朗(3年・市立岐阜商業高校出身)

まだまだ続く！ 岐経大の躍進



陸上競技部
TRACK AND FIELD

輝け！
アスリートたち

海外・全国・西日本で活躍！



6月24日(土)・25日(日)に香港のTseung Kwan O Sports Groundで開催された、香港インターシティ選手権大会において、男子400mに東海学連代表として出場した川満健太選手(スポーツ経営学科3年・沖縄県 那覇西高校出身)が47秒32と、力強い走りで堂々の優勝!!本学陸上競技部の強さを海外の舞台で見せつけました。



6月9日(金)～11日(日)には、Shonan BMW スタジアム平塚で日本学生個人選手権大会が開催され、篠田大貴選手(大学院経営学研究科1年)が、男子ハンマー投で61m10と8位に入賞し、3年連続の入賞となりました。



6月30日(金)～7月2日(日)にエディオンスタジアムで開催された第70回西日本インカレでは、男子走幅跳で石倉南斗選手(スポーツ経営学科3年・新潟県 新潟産業大学附属高校出身)が7m68を跳び優勝!

自己ベスト記録を更新し、本学歴代3位の記録となりました。

国内のみならず、世界の舞台でも飛躍を続ける陸上競技部の活躍に、今後ご期待ください。

岐阜陸上競技協会 強化委員長に品田 直宏 陸上競技部監督が就任

岐阜陸上競技協会の強化委員長に、本学陸上競技部監督の品田 直宏氏(学生課スポーツ振興室 スポーツ指導職員)が就任しました。

品田氏は2013年から陸上競技部のコーチ、2015年から同監督に就任し、主に短距離・跳躍ブロックを中心に技術指導を行っており、その手腕が、今後アジアジュニア陸上競技選手権の開催を控えている岐阜県でも期待されています。

東海学生陸上競技連盟評議員も務め、自身はユニバーシアード競技大会 走幅跳日本代表、世界ユース選手権 走幅跳優勝、世界ジュニア選手権4×100mRで3位入賞等々、数々の競技歴を持つ実力派の監督です。

強化委員長就任にあたって

大学の指導者が30代前半で強化委員長を務めるというのは全国的に見ても異例のことであり、プレッシャーもありますが、大学での指導経験やネットワークを活かし、これまでとは違った方法で県全体を強化していきたいと考えています。





サッカー部

SOCCER



3年ぶり・2度目の 天皇杯出場!



(中本岳人氏 撮影)

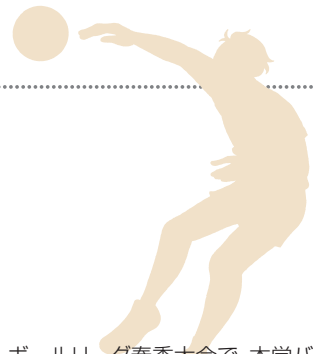
4月22日(土)に第97回天皇杯サッカー選手権大会が行われ、本学サッカー部は3年ぶり2度目の出場を果たしました。地元岐阜・長良川球技メドウでの第1回戦ということもあり、400名を超えるサポーターが応援に駆けつけてくれました。対戦相手は新潟医療福祉大学。前半1点を先取されましたが、後半10分に谷口海斗主将(スポーツ経営学科4年・三重県 四日市中央工業高校出身)が鮮やかなループシュートを決め、同点に追いつき、サポーターも大いに盛り上がりました。しかし、後半に2点を追加され、結果は1-3で惜しくも初戦突破とはなりません。法人合併後、第一号の全国大会出場クラブとして、岐阜経済大学の名を全国に示すことができました。90分間声援を送って下さったサポーターの皆さんに心から感謝します。



バレーボール部

VOLLEYBALL

岐阜県リーグでアベックV! 東海リーグ最優秀新人賞 アベック受賞! 男子は西日本インカレベスト4で3位入賞!!



第122回岐阜県大学男女バレーボールリーグ春季大会で、本学バレーボール部は男子・女子ともに優勝し、昨年の秋季大会に引き続きアベック優勝を決めました。

また、東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会において、男子・女子ともに最優秀新人賞を受賞!最終結果は男子3位・女子6位でした。

6月28日~7月2日には、2017年度第43回西日本バレーボール大学選手権大会が行われ、男子バレーボール部はベスト4まで勝ち上がり、最終成績3位入賞と、過去最高成績を更新しました。

また、個人賞も受賞しました。



東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会

最優秀新人賞(男子) 有吉 俊太(スポーツ経営学科1年・茨城県 霞ヶ浦高校出身)

最優秀新人賞(女子) 前田 美紅(スポーツ経営学科1年・長野県 松商学園高校出身)

第43回西日本バレーボール大学男子選手権大会

個人賞(サブ賞) 村田 和輝(スポーツ経営学科2年・愛知県 豊橋中央高校出身)



キャンパス 彩々 Campus Saisai

硬式野球部

2017年度・新入生
「これを頑張ります!」

岐経大
宣言!



常勝軍団を作る!



入学式



4年間の学びを社会で役立てよう



目指せ経大の星☆

時間管理が成功のポイント!



4年間めいっぱい楽しもう!

夢に向かってまっしぐら!



まずはコミュニケーションから!

「新入女子学生歓迎会」開催!



4月6日(木)に、新入生を対象とした女子会を開催!
 ケーキバイキングやドリンクをいただきながら、自己紹介
 をしたり、先輩にこれからの大学生活や受講登録のアドバ
 イスをもらったりと、大いに盛り上がりました。



自炊を頑張ろう!



サッカー部



インカレ・総理大臣杯・天皇杯出場!

女子バレーボール部



日本一を目指す!



出会いを大切に!

「新」に挑む ～夢をカタチに確かな一歩～

岐阜経済大学、滋賀大学大学院教育学研究科卒業
銀行に勤務の後、滋賀県学校教員を経て、現在滋賀県議会議員(2期目)
滋賀県や県内市の環境審議会委員、環境省近畿ESD環境教育プログラム作成実証委員などを
経験。現在、環境省環境カウンセラー、防災士。また、多分野のNPO活動や大学生の現地指
導も行っている。蒲生東小時代に「みぞっこ探検」で中日教育賞受賞。
著書『たんけん・はっけん・ほっとけん』井阪尚司・蒲生野考現倶楽部:昭和堂、『子どもと追求す
る愉しみ』稲垣忠彦・井阪尚司ほか:評論社、『こどもはおもしろい』河合隼雄・井阪尚司ほか:講
談社、雑誌や記事などで実践が紹介される。

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

教育30年、NPO25年、調査研究20年の経験を生かして、議会活動と地域づくり(環境、エ
ネルギー、地域文化、観光、農業、教育、福祉を中心に)に取り組んでいます。スローガンは「たん
けん・発見・ほっとけん」。

Q2. 大学在学中はどのような大学生活を送っていらっしゃいましたか。

私は双子で、いつも一緒に大学に通っていました。カバンに詰めた本が重かった。通学路は、
雨期になると道に水が溢れ、泳いでいるフナを手づかみしたりするなど四季折々の変化が楽
しめました。アットホームな大学で、先生方や職員の皆さんに良くしていただきました。おかげ
で、岐阜経済大学は、兄弟3人の母校となりました。

Q3. 大学で学んだどんなことが、現在役立っていますか。

経済学を学びながら教職課程も履修していましたので、単位修得が大変でした。卒業後、銀行に3年勤めましたが、縁あって滋賀県の教員
になりました。大学で学んだこと今の私はありません。大学では、知識だけでなく、ものの見方や考え方、学問する姿勢などについて
教えていただき、この姿勢が今の議員活動にも生きています。

Q4. 在学生に向けて一言メッセージをお願いします。

私たちは今、人口減少社会と情報化社会の真ただ中にいますが、間もなくIoTとAIが結合した新しいクラウド社会が到来します。暮らしや動
き方が一変するだけに、今まで以上に愛和に満ちた創造力のある人材が求められています。探求力とプレゼン力を磨き、進取の精神と実現
力で新しい時代を拓いてほしいと思います。



滋賀県議会議員
井阪 尚司さん
経済学部経済学科(1975年度卒業)

正しい価値を正しく伝える 一製販一体のマネジメント

ツカキグループの塚喜商事株式会社取締役京都事業部長、ツカキ株式会社取締役営業部長、
東京営業本部長を経て、現在は塚喜商事株式会社あさぎ事業部長(西陣織メーカー)として
「正しい価値を正しく伝える」をモットーに西陣織の技術の伝承と後継者育成に努めています。

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

ツカキグループは三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)の精神のもと創業150年を
迎えました。中核企業である塚喜商事株式会社で取締役あさぎ事業部長として製販一体のマ
ネジメントをしています。「西陣織美術工芸あさぎ」として技術の伝承と革新、職人の保護そし
て後継者育成に努めています。

Q2. 大学在学中はどのような大学生活を送っていらっしゃいましたか。

兄(滋賀県議会議員)と私は双子で共に岐阜経済大学で学びました。往復6時間かけ毎日通
学しました。教職課程を履修していましたので家には寝に帰るだけで、学習は講義の集中受講
と電車の中での予習、復習の毎日でした。パンのミミを買っては空腹をしのいでいました。

Q3. 大学で学んだどんなことが、現在役立っていますか。

長時間通学によって不屈の精神と忍耐力は身につきました。基礎ゼミで「人は生まれ、人は
生きて、人は死す」との話をまとめた「歴史の寓話」から、本質の探究とリテラシー思考がマネ
ジメントに役立っています。また、ゼミでの国際金融論では西陣織に使う生糸、金、プラチナ等
の価格動向や買い付けで大変役立っています。

Q4. 在学生に向けて一言メッセージをお願いします。

人生の設計図を作ってみてください。自分の将来のあるべき姿を描くと、今何をすべきか、何歳までに何をすべきかが鮮明になり、目的への
達成が近くなります。

在学中、飯田繁学長(当時)から「激情なき真理は空虚にして、真理なき激情は盲目である」と学びました。たえず自問自答する言葉です。



塚喜商事株式会社 取締役あさぎ事業部長
井阪 仁さん
経済学部経済学科(1975年度卒業)
<http://www.tsukaki.com>



経済学部

たかぎ ひろし
高木 博史 准教授

私の研究テーマは貧困問題、福祉介護労働問題、障がい者問題、ソーシャルワーク教育といったものを柱としています。

熊本学園大学の社会福祉学部在学中は、障がい者福祉に関心があ

り、障がい者団体のボランティアなどを行っていました。そうしたところから、卒業論文では、障がい者運動について取り上げ、障がい者福祉関係の就職を目指していましたが、高齢者施設に就職することとなりました。大学卒業と同時に介護福祉士と社会福祉士国家試験の受験資格を取得したものの、他業種と比較して待遇はそれほど良いものではありませんでした。そこで、「いのち」や「くらし」を守る社会福祉従事者の労働はどうかあるべきかという問題意識を持ち、現在も関心を持ち続けています。

大学院では、再び障がい者運動について研究を深めました。とくに障がい者運動と障がい者世帯の階層性についての関係性に注目し、地域福祉を考えていく視点から研究を行いました。今思えば、貧困や生活困窮者支援実践に関わっているのはこのときの研究が原点となっているような気がします。

現在は、生活困窮者支援を中心に、行っていた独立型社会福祉士事務所を開設・運営していた経験から、貧困問題や生活保護問題についての研究を中心にしています。



PROFILE

熊本市の出身です。熊本学園大学社会福祉学部を卒業後、温泉地として有名な大分県別府市の高齢者施設で介助員や生活指導員として勤務しました。その後、2001年に立命館大学大学院社会学研究科に進学、修了し2003年より立正大学、沖縄大学、長野大学と社会福祉士の実習教育に携わり、2014年4月に岐阜経済大学に着任いたしました。沖縄大学在職時には独立型社会福祉士事務所の開設を行い、生活困窮者支援を行っていました。現在は、主に社会福祉原論や社会福祉士国家試験受験資格の取得に必要なソーシャルワーク実習・演習関係の科目を担当しています。

趣味拝見

基本的にそれほど「趣味」といえるようなものではなく、インターネットのようなインドア系が多いのですが、敢えていうなら時々「水泳」をやっています。

高校の時の校内水泳大会で(50m自由形)「優勝」経験もあります。といっても、当時は水泳部がなくスポーツも全般的に低調な高校だったという「運」もありました。当時は50mを31秒くらいで泳いでいました。

水泳は有酸素運動でとても身体に良いと言われます。何かと運動不足になりやすい年齢に差し掛かってきていますが、時々気分転換に身体を動かしていきたいと思っています。



近著紹介

岐阜経済大学研究叢書18 市民立法の研究

法律文化社 2017年2月

市民が立法過程に参画し実現した、児童虐待防止法、性同一性障害者特例法、発達障害者支援法、自殺対策基本法、風営法改正の5つの事例を検証、考察。学術上の論議も整理し、理論と実態から市民立法の意義と実現への要因を明らかにする。



経済学部 教授
勝田 美穂

〔その他の収入〕 5億2,016万円

第2号基本金引当特定資産3億2,000万円、退職給与引当特定資産4,000万円の取崩し、減価償却引当特定資産8,000万円を空調改修費用等へ充当するため取崩しています。

②支出の部

〔人件費支出〕 9億2,553万円

専任教職員等の給与及び退職者への退職金です。退職金支出の減少により、前年度比1,980万円の減少となりました。

〔教育研究経費支出〕 5億6,917万円

3・8号館空調設備更新の他、学生への奨学事業(学費減免、私費留学生奨学金等)、語学留学助成事業、課外活動助成事業(強化・準強化指定クラブ合宿費、遠征費等)等が主な支出で前年度比2,033万円減少しました。

〔管理経費支出〕 1億9,041万円

広告費や高校訪問等の学生募集経費の他、創立50周年記念事業、法人合併に係る経費が主な支出で前年度比774万円増加しました。

〔施設関係支出〕 4億1,299万円

創立50周年記念事業である大学食堂建築及び3・8号館空調設備更新、総合グラウンドの改修を実施しました。

〔設備関係支出〕 3,061万円

大学食堂厨房機器の購入や体育館トレーニング機器更新を実施しました。

〔資産運用支出〕 6億円

創立50周年記念事業において取得する施設設備等資金を第2号基本金引当特定資産として繰り入れられました。

資金収支計算書 平成28年4月1日～平成29年3月31日まで (単位 千円)

収入の部			
科 目	平成28年度	平成27年度	差 異
学生生徒等納付金収入	1,320,138	1,204,291	115,847
手数料収入	24,016	23,265	751
寄付金収入	76,179	12,202	63,977
補助金収入	309,058	280,430	28,627
資産売却収入	300,000	100,000	200,000
付随事業・収益事業収入	9,116	4,153	4,963
受取利息・配当金収入	14,739	32,131	△ 17,392
雑収入	50,049	69,134	△ 19,084
前受金収入	271,347	272,190	△ 843
その他の収入	520,163	1,317,716	△ 797,553
資金収入調整勘定	△ 330,405	△ 297,721	△ 32,683
当年度収入の部小計	2,564,403	3,017,794	△ 453,391
前年度繰越支払資金	2,917,528	2,901,437	16,090
収入の部合計	5,481,931	5,919,232	△ 437,300
支出の部			
科 目	平成28年度	平成27年度	差 異
人件費支出	925,535	945,339	△ 19,804
教育研究経費支出	569,172	589,510	△ 20,337
管理経費支出	190,415	182,670	7,745
施設関係支出	412,999	104,595	308,403
設備関係支出	30,618	25,991	4,626
資産運用支出	600,000	1,183,890	△ 583,890
その他の支出	81,398	35,332	46,066
資金支出調整勘定	△ 24,650	△ 65,625	40,975
当年度支出の部小計	2,785,488	3,001,704	△ 216,215
翌年度繰越支払資金	2,696,443	2,917,528	△ 221,085
支出の部合計	5,481,931	5,919,232	△ 437,300

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

〔基本金取崩額〕

第4号基本金(恒常的に保持する基本金)は、学校法人会計基準の改正により、学校法人の経営実態に合わせた基本金額に変更するため、6,500万円を取崩しました。

事業活動収支計算書 平成28年4月1日～平成29年3月31日まで (単位 千円)

科 目	平成28年度	平成27年度	差 異
学生生徒等納付金	1,320,138	1,204,291	115,847
手数料	24,016	23,265	751
寄付金	7,393	12,202	△ 4,808
経常費等補助金	289,058	272,782	16,275
付随事業収入	9,116	4,153	4,963
雑収入	50,049	69,134	△ 19,084
教育活動収入計	1,699,773	1,585,829	113,943
人件費	888,099	932,951	△ 44,851
教育研究経費	758,564	772,728	△ 14,163
(内減価償却額)	189,158	183,462	5,695
管理経費	223,615	214,968	8,647
(内減価償却額)	33,763	33,038	724
教育活動支出計	1,870,280	1,920,648	△ 50,368
教育活動収支差額	△ 170,507	△ 334,818	164,311
受取利息・配当金	14,739	32,131	△ 17,392
教育活動外収入計	14,739	32,131	△ 17,392
教育活動外収支差額	14,739	32,131	△ 17,392
経常収支差額	△ 155,768	△ 302,687	146,919
資産売却差額	420	0	420
その他の特別収入	90,315	8,486	81,828
特別収入計	90,735	8,486	82,248
資産処分差額	11,773	32,418	△ 20,644
特別支出計	11,773	32,418	△ 20,644
特別収支差額	78,962	△ 23,932	102,894

〔予備費〕	5,909	7,581	△ 1,672
基本金組入前当年度収支差額	△ 76,806	△ 326,619	249,812
基本金組入額合計	△ 623,982	△ 880,000	256,017
当年度収支差額	△ 700,788	△ 1,206,619	505,830
前年度繰越収支差額	784,729	1,727,570	△ 942,840
基本金取崩額	65,000	263,778	△ 198,778
翌年度繰越収支差額	148,941	784,729	△ 635,788

(参考)

事業活動収入計	1,805,247	1,626,448	178,799
事業活動支出計	1,882,054	1,953,067	△ 71,013

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

(3)貸借対照表

「貸借対照表」は年度末における資産、負債及び基本金等の状況を表したものです。

資産の部の合計は、136億7,900万円となり、前年度末に比べて1億5,695万円減(1.1%減)、負債の部の合計は、7億5,913万円となり、前年度末に比べて8,014万円減(9.5%減)、純資産の部は、129億1,986万円となり、前年度比7,680万円減(0.6%減)となりました。

貸借対照表 平成29年3月31日 (単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,922,554	10,851,683	70,871
有形固定資産	5,874,464	5,664,012	210,451
特定資産	3,861,460	3,701,460	160,000
その他の固定資産	1,186,630	1,486,210	△ 299,580
流動資産	2,756,451	2,984,274	△ 227,823
資産の部合計	13,679,005	13,835,958	△ 156,952
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	448,399	485,834	△ 37,435
流動負債	310,738	353,449	△ 42,710
負債の部合計	759,138	839,284	△ 80,145
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	12,770,926	12,211,944	558,982
第1号基本金	11,473,926	11,129,944	343,982
第2号基本金	1,160,000	880,000	280,000
第4号基本金	137,000	202,000	△ 65,000
繰越収支差額	148,941	784,729	△ 635,788
翌年度繰越収支差額	148,941	784,729	△ 635,788
純資産の部合計	12,919,867	12,996,674	△ 76,806
負債及び純資産の部合計	13,679,005	13,835,958	△ 156,952

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

平成28年度決算報告

事業の概要

私立大学を取り巻く環境は、少子化の進行により、18歳人口が平成24年の119万人から平成36年の106万人へ13万人減少する予測です。この厳しい状況下、本学の生き残り戦略として、大学改革、教育改革を推進しました。大学改革は、大垣女子短大との法人合併(大垣総合学園)が平成29年1月11日に認可され、両大学の経営および教育資源の相乗効果を追求しました。また、創立50周年記念事業の第1次キャンパス整備計画により平成29年3月には新食堂が竣工しました。教育改革としては教育ポリシーの再定義および、学部学科の強化策としてカリキュラム改革を検討しました。

◎教育改革

学長のリーダーシップのもと全学教育改革推進会議で教育改革について議論しました。また教育改革を具体的に実施している大学へ重点的に支援する「私立大学等改革総合支援事業」(文部科学省補助金)の「タイプ1および2」に採択されました。

◎クラブ活動の実績

駅伝部が、全日本大学駅伝対校選手権大会に2年連続出場し、18位と前を上回る成績をあげました。また12月の東海学生駅伝対校選手権大会で初優勝し、平成29年10月の出場全日本大学選抜駅伝競走に初出場が決まりました。

◎地域連携

平成28年8月、山梨市と連携協定を締結し、連携自治体は10となりました。また、連携事業として、平成29年3月に経済学部が藤井ゼミナールが海津市との財政研究会を立ち上げました。

◎地方創生

消防団員の不足対策として、大垣市の学生消防団奨学金制度の創設に合わせ、「岐阜経済大学学生消防団員修学支援奨学金制度」を新設し、8名の学生が消防団に入団しました。全国に先駆けた取り組みとして、全国紙にも掲載されました。

◎グローバル化への対応

ベトナムのダナン大学と教育交流協定を締結し、海外大学の協定校は6校となりました。また、創立50周年記念事業として、ダナン大学と東南アジア特別奨学生の協定を締結し、東南アジアの学生を本学が奨学生として受け入れる制度を創設しました。

財務の概要

資金収支計算書では、次年度への繰越支払資金は26億9,644万円となり、前年度より2億2,108万円減少しました。

事業活動収支計算書では、事業活動収入計から事業活動支出計を差し引いた単年度の収支差額は7,680万円の支出超過となり、翌年度への繰越収支差額は1億4,894万円となりました。

(1)資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～翌年3月31日)の諸活動に対応するすべての資金(現金の出入り)の動きを表したものです。資金収支の内容について、主な科目を説明します。

①収入の部

〔学生生徒等納付金収入〕 13億2,013万円

授業料、入学金、実習料、教育充実資金の収入です。授業料納付学生数は1,284名、前年度比1億1,584万円の増加となりました。

〔寄付金収入〕 7,617万円

創立50周年寄付金6,878万円、ボート部寄付金216万円、親和会からのスクールバス運行費助成金500万円、スポーツ振興寄付金22万円を受け入れました。

〔補助金収入〕 3億905万円

国庫補助金、地方公共団体補助金等の収入です。国庫補助金は2億8,649万円、大垣市からの施設設備補助金2,000万円、岐阜県からの結核予防費補助金、大垣商工会議所からの中心市街地協働型まちづくり事業の助成金等を受け入れました。

〔資産売却収入〕 3億円

有価証券の売却収入3億円です。

〔付随事業・収益事業収入〕 911万円

国土交通省等からの委託事業6件、717万円、公開講座受講料収入133万円等です。

〔受取利息・配当金収入〕 1,473万円

定期預金利息及び有価証券等の利金1,473万円です。

(2)事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、資金の移動を伴わないもの(現金の出入りの他に消費していくもの)として、減価償却額や退職給与引当金繰入額などを計上し、当該会計年度の事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を表したもので、学校法人の経営状況を示し企業会計の「損益計算書」に当たるものです。また、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つの区分会計を導入し、学校法人の経常的活動、臨時的活動に分けて収支を明らかにしています。さらに、学校法人は安定的かつ持続性保持のために収支均衡を図る観点から基本金組入という企業会計とは異なる処理をしています。基本金は、将来校舎等の再取得に必要な基金として積み立てることを目的としているため、当該年度の収入から控除した上で収支バランスをみるという点が学校法人会計の特徴です。なお、事業活動収支計算書の収支科目の多くが資金収支計算書の収支科目と共通していますので、事業活動収支計算書固有の内容について主なものを説明します。

①収入

事業活動収入計は、学校法人の負債(返済義務のない収入)とならない収入の合計です。従って、資金収支計算書の収入から資金の動きだけを示す「前受金収入」、「その他の収入」、「資金収入調整勘定」等は除かれます。

〔その他の特別収入〕

創立50周年記念寄付金、施設設備補助金の他に、科学研究費補助金による物品の取得及び団体、個人から寄贈された図書等310点、152万円を現物寄付として計上しました。

②支出

事業活動支出計は、施設の建設費や機器備品・図書等の資本的支出に充当する額(基本金組入額)を控除し計上します。従って資金収支計算書の支出科目から「施設関係支出」、「設備関係支出」、「その他の支出」等を除きますが、「教育研究経費」及び「管理経費」には各々減価償却額を加算しています。減価償却額は建物、機器備品などの固定資産の当期償却額を計上しています。

〔資産処分差額〕

平成28年度実施したクラブハウス解体工事、学内トイレ改修工事において、資産簿価1,097万円を計上したため全体で1,177万円となりました。

③基本金

〔基本金組入額合計〕

第1号基本金は、創立50周年記念事業(食堂建築)に係る基本金として第2号基本金から3億2,000万円を振替ました。また、平成28年度取得したその他の固定資産(空調機の更新、総合グラウンド改修等)に係る基本金及び前年度未組入れ額等2,398万円を組入れました。第2号基本金は、創立50周年記念事業における取得予定額6億円を組入れました。

2016年度スポーツ振興寄付金実績報告

2016年度スポーツ振興寄付金として228,060円のご寄付をいただき、課外活動団体の遠征や用品の購入等に充当いたしました。

皆様からの温かいご支援、ご協力に感謝し厚く御礼申し上げます。

強化指定クラブ

・男子バレーボール部	2件	50,000円
・陸上競技部	13件	105,000円

準強化指定クラブ

・駅伝部	3件	36,000円
・女子バレーボール部	1件	20,000円

一般クラブ

・硬式庭球部	1件	3,000円
団体を特定しない	5件	14,060円
		計 228,060円

2017年度 オープンキャンパスを開催します

岐阜経済大学の教育力、学びの内容を知るチャンス!8月のオープンキャンパスでは、在学生が本学での学生生活や、入学を決めた理由、下宿生活、クラブ活動、アルバイトのことなどを本音で語る「トークショー」を今年も開催します。そのほか、模擬授業体験、情報施設体験、体育館・図書館・総合グラウンドなど学習環境を見学する「キャンパスガイドツアー」や個別相談など様々な企画を計画しています。マンスリーオープンキャンパスでは、参加者のあらゆる疑問・質問に個別にお答えし、見学も対応します。

日程

- ・メインオープンキャンパス
8月19日(土)、9月10日(日)、10月7日(土)
- ・学園祭オープンキャンパス
11月18日(土)・19日(日)
- ・クリスマスオープンキャンパス
12月16日(土)
- ・スプリングオープンキャンパス
2018年3月17日(土)
- ・マンスリーオープンキャンパス
2018年1月6日(土)、2月10日(土)



インターネット出願完全導入!

2018年度4月入学希望者が受験する今年度の入試から、インターネット出願を導入します。これにより、○願書が手元になくても ○出願期間中であれば24時間 ○コンビニで受験料支払い可能 ○チェック機能で入力ミスなしで安心して出願できます。

法人理事の就任

2017年5月24日(水)開催の学校法人大垣総合学園理事会において、下記の方が選任されました。

理事(新任) 岩井 哲二 大垣市議会議員<任期:2017年5月25日~2019年3月31日>

教職員人事

新規採用



仁科 信春
経済学部教授
東京工業大学大学院
理工学研究科社会学専攻
博士課程修了 博士(工学)



高橋 直志
経済学部准教授
同志社大学大学院
経済学研究科
博士後期課程単位取得満期退学



後藤 康文
経済学部講師
日本福祉大学大学院
社会福祉学研究科(修士課程)
福祉マネジメント専攻修了



古田 康生
経済学部准教授
福岡大学大学院
スポーツ健康科学研究科
博士課程(後期)満期退学



大前 智文
経営学部講師
名城大学大学院
経済学研究科経済学専攻
博士後期課程修了 博士(経済学)



水野 敏彦
キャリアアドバイザー
愛知県立佐屋高等学校
元 校長

2017年4月1日付

退職

2017年3月31日付

- 谷江 幸雄
経済学部教授
- 樋下田 邦子
経済学部教授
- 野松 敏雄
経営学部教授
- 福地 和夫
経営学部教授
- 林 広志
キャリアアドバイザー

退職

2017年4月22日付

- 馬久地 亜季
総務課主事

昇格

2017年4月1日付

- 有森 俊文
経済学部 准教授(経済学部 講師)
- 中西 大輔
経営学部 准教授(経営学部 講師)

名誉教授

2017年4月1日付

- 谷江 幸雄
経済学部教授
- 野松 敏雄
経営学部教授
- 福地 和夫
経営学部教授

国内留学

- 古口 博之
経営学部教授 2017年9月21日~2018年3月31日

配置転換

2017年4月1日付

- 大音 浩一
学生課長兼図書館事務長(図書館事務長)
- 小森 茂
学生課主幹(学生課長)
- 森本 堅二
学生課主査(入試広報課主査)
- 吉田 大介
入試広報課主査(学生課主査)

配置転換

2017年6月1日付

- 渡辺 正典
学校法人大垣総合学園法人事務局長兼
岐阜経済大学事務局(岐阜経済大学事務局)
- 高橋 信一
学校法人大垣総合学園法人事務局次長兼
大垣女子短期大学事務局(大垣女子短期大学事務局)

配置転換

2017年7月14日付

- 大音 浩一
図書館事務長の兼務を解く
(学生課長兼図書館事務長)
- 田中 俊彦
図書館事務長(キャリア支援課長)
- 塚原 康之
キャリア支援課長(理事長室長)
- 釣餌 丈志
理事長室長兼企画広報課長
(企画広報課長)
- 吉形 高志
理事長室主査兼企画広報課主査
(理事長室主査)